

南山大学広報誌

NANZAN

BULLETIN

vol.229
2024. 9. 30

特集

第65回上南戦

南山ゆかたフェス

南山チャレンジプロジェクト



NANZAN
UNIVERSITY



JOHNNAN THE CLASSIC

第65回 上南戦

準優勝!

バレー))) 男女ともに昨年のリベンジを果たし、それぞれ3-2、3-0で勝利!

アメリカンフットボール))) 部員数と体格の差をはねのけ、17-14で劇的勝利!



ラクロス男子))) 大接戦でしたが、6-7で上智大学の勝利

水泳	南山 264 - 224	上智
弓道(女子)	南山 52 - 49	上智
弓道(男子)	南山 63 - 82	上智
ハンドボール	南山 21 - 27	上智
ラグビー	南山 21 - 73	上智
硬式野球	南山 1 - 4	上智
ラクロス(男子)	南山 6 - 7	上智
アメリカンフットボール	南山 17 - 14	上智
バレーボール(女子)	南山 3 - 0	上智
バレーボール(男子)	南山 3 - 2	上智
バドミントン(男子)	南山 4 - 1	上智
バドミントン(女子)	南山 4 - 1	上智
バスケットボール(女子)	南山 52 - 77	上智
バスケットボール(男子)	南山 57 - 63	上智
柔道	南山 3 - 2	上智
剣道(男子) ^{※1}	南山 1 - 4	上智
剣道(女子) ^{※1}	南山 2 - 1	上智

※1 公式戦不成立のため参考記録となります

7月5日~7日、スローガン「Be The Best」のもと、ホームで戦った今年の上南戦。結果は14勝16敗と惜しくも準優勝でした。「今年度の上南戦こそは南山大学単独総合優勝」という思いは果たせませんでした、「最高を目指し」、「最善を尽くした」試合が数々繰り広げられた熱い3日間となりました。

応援にお越しいただいた皆様、ありがとうございました! 来年は上智大学での開催です。



水泳))) 前哨戦として行われた水泳部の試合は、264-224で勝利!



柔道

柔道の試合に先立ち、本学卒業生で柔道の世界形選手権で優勝した石田桃子さん、石田真理子さん、姉妹による「形」の披露がありました。

少林寺拳法	南山 35 - 50	上智
軟式庭球(男子)	南山 4 - 5	上智
軟式庭球(女子)	南山 3 - 0	上智
硬式庭球(男子)	南山 3 - 6	上智
ゴルフ	南山 0 - 6	上智
洋弓(男子)	南山 3204 - 3302	上智
洋弓(女子)	南山 3100 - 3013	上智
陸上	南山 127 - 108	上智
準硬式野球	南山 12 - 1	上智
アイスホッケー	南山 1 - 9	上智
サッカー	南山 0 - 0	上智
ラクロス(女子)	南山 9 - 4	上智
フェンシング	オープン競技として実施	
卓球(男子)	南山 1 - 4	上智
卓球(女子)	南山 0 - 3	上智
空手道	オープン競技として実施	
硬式庭球(女子)	南山 3 - 0	上智



上南戦に先立って、神言神学院にて祈念ミサが行われました



サッカー))) PK戦の末、上智大学の勝利 0-0(PK戦4-5)

少林寺拳法



準硬式野球



ラクロス女子))) 学生日本一を目標に掲げるラクロス部女子は、9-4で勝利!



弓道女子))) 接戦を勝ち抜き、52-49で勝利!

Be The Best

南山ゆかたフェス

7月11日、2024年度南山ゆかたフェスを開催しました。ゆかたフェスは、2017年から開催しているイベントで、浴衣を着て大学で一日過ごすことで、学生・教職員同士の交流、日本文化の発信を目的としています。当日は、多くの浴衣姿の学生、教職員が見られ、南山ゆかたフェス実行委員会によるラムネの販売や緑日イベントも行われました。



▲R棟ロビーでキサラ学長と参加者が集合写真を撮影しました

南山チャレンジプロジェクト 今年も始動!

◆南山チャレンジプロジェクトとは?
 学内の活性化や、地域との交流、国際交流などを推進する学生の取り組みを大学として支援するプロジェクトです。採択された団体には支援金額(上限30万円)が支給されます。今年は、地域貢献をテーマに募集しました。

2024年度採択団体

申請テーマ 地域に貢献する活動

エコファッション

要らなくなったモノや衣服からアップサイクル衣装を製作し、環境問題、アパレル業界に隠れた社会問題などを、ファッションショーを通じて世界へ発信する為に活動します。

そのために、清掃活動、ピラ配り、ワークショップ、南山大学の大学祭でのファッションショー等のイベントを企画します。

総合政策学部2年 横山茜さん

申請テーマ 国際社会に貢献する活動

南山リサイクルプロジェクト

学内にリサイクルBOXを作り、設置することを企画しています。私たちはASUサステナビリティプログラム※に参加したことをきっかけに南山大学に通う学生のリサイクルに対する意識向上に向けたキャンペーンを立案しました。資源、環境問題の解決への基盤を整え、持続可能な発展に貢献します!

※アメリカ合衆国のアリゾナ州立大学(ASU)で約6週間にわたって行われる短期留学プログラム

国際教養学部3年 早川陽菜さん

申請テーマ 特定の社会・地域に貢献する活動

南山大学遺跡を歩こうの会

南山大学 遺跡を歩こうの会

多くの人に身近な遺跡を新たな魅力として認識してもらおうと同時に、その活用を促すことによって新たな地域資源を作り出すことを目標に活動します。遺跡の位置を記録したマップや遺跡の紹介をインターネット上や地域の公共施設等で公開することによって、誰もが簡単に遺跡などの文化財を活用できるようなマップを作成することを目指します。

人文学部4年 安達友隆さん



Hominis Dignitati (人間の尊厳のために)

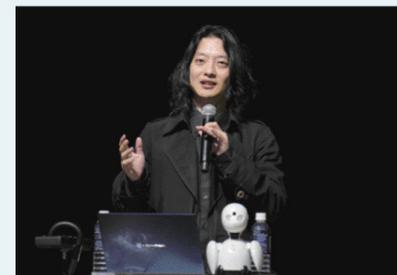
第3回南山大学「人間の尊厳賞」 吉藤オリィ氏が受賞

6月8日、第3回南山大学「人間の尊厳賞」表彰式・記念講演会を開催しました。来賓、学生、学内教職員、一般参加者の方々約360名が出席し、盛大に式を挙行了しました。

表彰式では、学長式辞の後、キサラ学長より吉藤氏に表彰盾が授与され、本賞を後援していただいている南山大学同窓会の松岳大樹会長より、副賞賞金の目録が手渡されました。表彰式の後、吉藤氏による「対孤独の発明家」が描くテクノロジー社会の未来」をテーマとした、記念講演会が行われました。

講演要旨

私はもう一つの自分を作ろうということロボットを製作しています。今日は分身ロボットカフェについてや、これまでの取り組みについてお話しします。



小学5年生から3年半の間、体調不良から不登校となり、折り紙ばかり折り続けていました。ある日、母が「折り紙が好きだったらロボットが造れるに違いない」と勝手に申し込んだロボットの大会に出場することになり、地区大会で出場者40人のうち39人が失格となるという奇跡の優勝を果たしました。これで本気になった私は、翌年はまじめにロボット造りに励み、全国大会で準優勝することができました。この中で、後に師匠となる先生に出会うことになります。これが結果的に人生を変える出会いとなり、不登校から脱出することができました。その先生のもとで今でも趣味となっている車いす製作を始めます。高校時代、海外の大会に出場した際に、世界の高校生科学者の卵と出会ったことも「自分の人生をかけるべきことは何か」を考える刺激となりました。その高校生は「僕はこの研究をするために生まれてきた。」と話しました。

私にとってそれは何かと悩んだ結果、自分が幼少期に感じていた孤独という問題を解消することに残りの人生をかけよう決めました。その後人工知能を使ったロボットセラピーの勉強をしますが、人工知能は本当に人を癒すのかに疑問を感じ、人と人との出会いの間にこそ癒しが生まれると考えました。

しかし車いすがあったとしても移動できない人がいるかもしれません。せめて心を運ぶ車いすを作れないかとたどり着いたのが分身ロボットでした。孤独の解消には周りからそこにいると認識され、自分がそこにいると実感できることが重要だと思います。テクノロジーによって孤独を解決できるかは当事者にしかわかりません。そういった意味で出来ないということは価値があるのです。寝たきり当事者である私の親友とともに作り上げた分身ロボット「OriHime(おりひめ)」を利用することで入院していても学校に通える、会いたい人に会いに行ける。寝たきりで社会から遠ざかってしまっていた人が仕事をすることができるようにもなりました。我々もいつか体が動かなくなる未来が来ます。そしてこの世の中は身体が動くことを前提にデザインされています。将来私たちは健康でなくなった最後の十年で新しく生まれた子供たちとでさえ分身ロボットを利用し友達になれるかもしれません。そういった未来を実現していきたいと思っています。



▲分身ロボット「OriHime(おりひめ)」

取材後記

式典当日、吉藤さんは「黒い白衣」に黒いシャツとズボンの全身黒の衣装でいらっしゃいました。中でも「黒い白衣」は吉藤さんのトレードマークで常に身にまとい、何着もストックを所持しているとのこと。「気に入る服がなければ作ってしまえばいい」と、ご自身で制作され、内側には長傘やタブレットが収納できたり、手袋付きのものもあるのだとか。人と人をロボットでつなぐモノづくりの達人の探求心が垣間見えた瞬間でした。式典後の懇親会では、吉藤さんの開発したロボット「OriHime(おりひめ)」が動く「きょうわごはん(名古屋市中村区)」で大学関係者との交流を深めました。実際にオリヒメパイロットとして働く方の話も聞くことができ貴重な経験となりました。終始朗らかな笑顔とユーモア溢れるお話で周囲の人々の緊張を解いてくださり、厳かなながらも笑顔の溢れる1日となりました。

トレードマークの「黒い白衣」▶



Special Events

2024.5.21

外国人留学生別科修了式

5月21日、外国人留学生別科修了式をフラッテンホールで開催しました。今年、創設50周年を迎えた外国人留学生別科は、1974年に24名の学生というささやかなスタートから、現在では毎学期およそ150名の学生を定期的に受け入れるようになりました。今回の修了式では、27の国と地域から来た、修了者68名を送り出しました。



▲キサラ学長より修了証が手渡されました

2024.7.13-7.14.8.2

オープンキャンパス

今年度のオープンキャンパスは、7月13日、14日にキャンパスへ来場する大学開催型と、8月2日に自宅から参加するオンライン開催型を開催しました。7月13日、14日は、各学科の教員による模擬授業や学科説明会の他、入試、奨学金、留学、就職などについての個別相談をはじめ、学科・学生企画やキャンパスツアーを実施しました。どの企画も盛況で、大学開催型は8,977名、オンライン開催型は825名の方にご参加いただきました。



2024.6.11

留学生向けキャリア支援課ツアー

6月11日、低年次から卒業後のキャリアビジョンを描いてもらうとともに、キャリア支援課の利用を促すため、留学生を対象にしたキャリア支援課ツアーを開催しました。参加した留学生は、まずキャリア支援課のスタッフから、大学のポータルサイトやキャリア支援課のWebページで得られる情報について説明を受けました。そして、キャリア支援課内に設置されているオンライン面接用ブースや留学生向けの本、面談の予約方法などについて実際に確かめていました。参加した大学院修士課程1年の留学生は、「キャリア支援課の雰囲気はわからず、1人で訪問するのを戸惑っていた。今回参加できてよかった。今後は1人で行けると思う」と話していました。



▲キャリア支援課スタッフから説明を受ける留学生

2024.6.24-7.13

Nanzan Anime Study Tour

6月24日から7月13日、Nanzan Anime Study Tourを開催し、アメリカやブラジルなど4つの国と地域から、8名の学生が参加しました。Nanzan Anime Study Tourは、本学にて2023年度から実施している留学生短期受け入れ事業です。全ての授業は英語で行われ、留学生はアニメに関連する講義やディスカッション、3度のフィールドトリップを通して日本の文化や社会について学びました。このプログラムの実施にあたり、留学生の日本文化体験をさらに深めるために、アニメ好きの本学学生を「Anime Study Buddy」として募集し、留学生と活動を共にしました。



▲Welcomeパーティーでは、Anime Study Buddyがアニメビンゴゲームを企画・実施し、互いに親睦を深めました ▲フィールドトリップでは、ジブリパーク、京都、飛騨・高山を訪れました

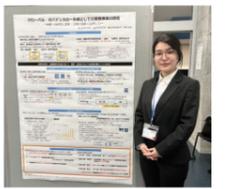
News

社会科学部研究科の学生が、第17回グローバル・ガバナンス学会研究大会で奨励賞を受賞

5月11日、社会科学部研究科博士前期課程2年の黒木美里さんが、立命館大学で開催された「第17回グローバル・ガバナンス学会研究大会」ポスターセッションで奨励賞を受賞しました。

黒木さんは、「グローバル・ガバナンスの一形態としての国際標準の研究：市場への影響と国家・企業の役割に注目して」をテーマに発表を行い、特に優れた研究発表だったとして、大学院生部門で奨励賞が授与されました。

黒木美里さん▶



名古屋銀行と連携・協力に関する包括協定締結式を開催

6月3日、名古屋銀行と連携・協力に関する包括協定締結式を本学にて開催しました。この包括協定は、地域社会課題の解決、人材育成等の分野における、包括的な産学連携・協力によって、地域活性化

に寄与することを目的としています。本学経営学部石垣ゼミと名古屋銀行では、産学連携の取り組みを行っており、当日は石垣ゼミの学生も参加しました。



中日新聞社と連携・協力に関する包括協定締結式を開催

7月2日、中日新聞社と連携・協力に関する包括協定締結式を本学にて開催しました。地域に根差した強みを持つ新聞社と大学がそれぞれの特性を活かし、互いに連携・協力し、報道や研究・教育の質を高める

ことによって、地域の知的文化を一層向上することを目的として、このたび、中日新聞社と包括協定を締結しました。

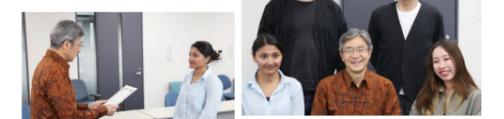
左：中日新聞社 牧 洋一編集局長 右：ロバート・キサラ学長▶



「南山大学国際教養学部・株式会社極東精機給付奨学金」授与式を開催

「南山大学国際教養学部・株式会社極東精機給付奨学金」は、株式会社極東精機様からのご支援を原資とし、国際教養学部で学ぶ東南アジアおよび南西アジア諸国いずれかの国の国籍を有する学生に対し給付する奨学金です。母国を離れて日々懸命に学ぶ外国人学生の学業達成を援助し、学生の母国と日本との友好・親善に貢献する有為の人材を育成することを目的

とし、2022年度に創設されました。今年度は4月24日に授与式を開催し、3名の学生が採用されました。森山学部長から奨学金についての説明を受けた後、採用通知書が手渡されました。



▲森山学部長から採用通知書が手渡されました

▲前列左から：GHIMIRE Swikritさん、森山学部長、LEE Kasumiさん 後列左から：神崎教授、北村学科長

2024年日本建築学会賞贈呈式

5月30日、日本建築学会賞の贈呈式が建業会館ホール(東京都港区)で行われました。本学は建築学会賞(業績)を受賞し、ロバート・キサラ学長が登壇して賞状を受け取りました。

本学は1965年に作品賞を受賞しており、今回は業績賞を受賞しました。今回の業績賞は、2016年のQ棟・リアンの新築から始まり、レーモンド・リノベーション・プロジェクト、2023年のライネルス中央図書館構想を経て、長期間にわたりレーモンド建築の再生保存を取り入れながらキャンパスを継続的に成長させている取り組みが評価されました。

今回の受賞理由には、「単なる保存活動を越えた業績になっており、大学のブランド価値を高める目標を達成した改修は、教職員と学生からも好意的に受け入れられている。大学キャンパスに対する愛情が強く感じられる業績と言えよう」という表現が見られます。今年度は「山里キャンパス」への移転60周年であり、現在様々なイベントを検討している最中です。これを機会に多くの人がキャンパスを訪れ、キャンパスの特徴である質素な美しさを味わっていただければ、と思っています。

南山大学長 ロバート・キサラ



「山里キャンパス」60周年特設サイト
https://www.nanzan-u.ac.jp/yamazato60/



法学部が「2023年度法学検定試験」団体賞合格率の部スタンダードコースで1位、ベーシックコースで3位、個人賞ベーシックコースで最優秀賞を受賞

本学法学部法律学科が、「2023年度法学検定試験」団体賞合格率の部スタンダード(中級)コースで1位、ベーシック(基礎)コースで3位になりました。個人賞では同学科3年の井村光さんがベーシック(基礎)コースで最優秀賞を受賞しました。

「法学検定試験」は、公益財団法人日弁連法務研究財団と公益社団法人商事法務研究会が共同で組織した法学検定試験委員会が実施している、法学に関する学力を客観的に評価する、日本で唯一の全国規模の検定試験です。



▲スタンダードコース受賞者

▲ベーシックコース受賞者

▲個人賞ベーシックコース最優秀賞 井村光さん

理工学部の井上克郎教授が情報処理学会2023年度功績賞を、故青山幹雄名誉教授が情報処理学会2023年度顕功賞を受賞

理工学部の井上克郎教授が情報処理学会2023年度功績賞を、青山幹雄名誉教授が情報処理学会2023年度顕功賞を受賞しました。

この賞は、情報処理に関し特別の功労があり、その業績が顕著な方に対し授与されるものです。

井上教授は、ソフトウェア工学、特に、プログラム解析技術のソフトウェア開発支援への適用において多くの成果を挙げており、ソフトウェアの保守性に影響を与えるコードクロンの分析

システム、ソフトウェア部品の重要度に基づく部品検索システム等を開発し、学術面のみならず、実際のソフトウェア開発現場での実用化という点で、情報処理分野に大いに貢献してきたことが評価されました。

青山名誉教授は、生前の業績が顕著であり情報処理に関し特別の功労があると認められ、表彰されました。



▲表彰式の様子

法学部の学生が「みずほ学術振興財団 第65回懸賞論文学部学生の部」で佳作、「第1回安藤仁介賞」で奨励賞を受賞

法学部法律学科4年毛利英暉さんが、「みずほ学術振興財団 第65回懸賞論文 学部学生の部」で佳作、世界人権問題研究センターの「第1回安藤仁介賞」で奨励賞を受賞しました。

みずほ学術振興財団 第65回懸賞論文では「障害者権利条約上の能力概念と我が国の民法における能力概念」、第1

回安藤仁介賞では「制度的権力構造と法的能力の承認-障害者権利条約12条が求める締約国国内法の変革のあり方を模索して-」というタイトルで受賞しました。



▲毛利英暉さん

Special Events Schedule

2024.11.2-11.4

大学祭「南山祭」

11月2日(土)から11月4日(月)までの3日間、大学祭「南山祭」を開催します。

今年のテーマは「瞬(またたく)」。このテーマには、「今この瞬間を大切に、関わってくださる方の記憶に残るような大学祭にしたい。一瞬一瞬の積み重ねでできた大学祭を思いきり楽しんでほしい」という思いが込められています。

課外活動団体によるステージ企画や模擬店、ゼミによる活動内容の展示・発表などさまざまな企画をご用意しております。



▲昨年の南山祭の様子

宗教劇「受難」

例年、パッセスクエアで開催している「受難」劇を今年度は大学祭期間中の11月2日(土)、3日(日)にロゴスセンターで公演します。

イエス・キリストのエルサレム入城からゴルゴダの丘における十字架上の死を経た復活までを、大学公認の課外活動団体「野外宗教劇」部員が演じます。出演はもちろんのこと、演出、脚本、衣装、メイク、情報宣伝など「受難」に関わるすべてのことを学生たち自身が行います。



▲昨年の「受難」の様子

2024.10.27

受験生と保護者のための入試説明会

10月27日(日)「受験生と保護者のための入試説明会」を開催します。これは、本学の一般入試、全学統一入試、共通テスト利用入試の受験予定者を対象としたイベントで、当日は入試説明や、個別相談などを実施予定です。また、一部企画はオンラインで参加いただくことも可能です。

詳細は大学公式Webページ「受験生の皆様」をご覧ください。

https://www.nanzan-u.ac.jp/admission/



▲大学概要説明

キャリア支援課プログラム紹介

全学年を対象にテーマ別ワークショップを実施します!

10月の月曜日と木曜日の5限に、9つのテーマでワークショップを開催します。自己分析や業界理解を深めたり、各業界で活躍されている企業の方のお話を聞いたりする機会です。希望進路の実現に向け、「今」何をすべきか学び、視野を広げてみましょう。気になるテーマがあったら是非気軽に参加してください。

〈実施予定のプログラム〉

10月3日(木)	5限	性格・適性診断テスト活用!
10月7日(月)	5限	起業のリアルを知る
10月10日(木)	5限	エアライン対策セミナー
10月14日(月)	5限	金融・損保業界セミナー
10月17日(木)	5限	物流業界理解セミナー
10月21日(月)	5限	マスコミ(放送)対策セミナー
10月24日(木)	5限	異業種5社セミナー
10月28日(月)	5限	IT業界理解セミナー
10月31日(木)	5限	商社業界理解セミナー

※申込方法等の詳細は、今後PORTAにて公開予定です。

※各種イベントは実施後に1週間程度YouTubeにてオンデマンド配信いたします(録画可能なイベントのみ対象)。詳細はPORTAからご確認ください。

第3クォーター以降のキャリア支援課プログラム紹介

就職支援プログラム(2026年3月卒業予定者対象)

9月~10月	第2回就職ガイダンス【文理別】	先輩の体験談、秋学期のスケジュールの確認など
10月	エントリーシート対策	添削道場
10月~11月	就職対策講座【文理別】 「筆記試験対策」「自己理解・自己PR」「志望動機」「業界研究」「面接対策」など	テーマ毎に就職活動に役立つ講座を実施します。
11月・1月	筆記試験対策	一般常識テスト(模試)を受検できます。
11月~12月	学内企業説明会 (自分にマッチした業界・仕事に出会える!)	各業界を代表する企業から講師をお招きし、各業界の現状や今後の方向性等についてお話を伺います。
12月	面接対策	グループ面接ワークショップ
12月	グループ選考対策	他大学交流型グループディスカッション対策講座
12月	第3回就職ガイダンス【文理別】	就職活動直前総まとめ講座(早期選考対策)
1月	第4回就職ガイダンス(フォローアップ)	就職活動直前総まとめ講座
2月	学内企業説明会 [2023年度実績:文系・理系218社]	南山大生を対象とした企業説明会を開催。優良企業が多数参加します。

※その他、Uターンガイダンスや外国人留学生ガイダンスを実施します。
※就職相談は随時受け付けています。

卒業後の進路が決まった学生の皆様 「進路届」提出のお願い

卒業後の進路が決まった皆様へ「進路届」の提出をお願いしています。PORTAのアンケートもしくはキャリア支援課窓口にて「進路届」を提出してください。

※ここでいう進路とは、就職/大学院・他大学への進学/一時的な仕事(非常勤講師、アルバイトなど)/その他(専門学校、教員・公務員・資格試験などの再受験、留学、就職活動の継続)など全ての進路が含まれます。

2023年度決算・2024年度予算について

近年、本学ではキャンパス整備事業として、本学キャンパスの設計者であるアントニン・レーモンド氏の「自然を基本として」という設計思想に基づき、歴史あるレーモンド建築を次の世代に継承しつつ、学生生活環境や学習環境の充実に向けて2017年度から2021年度までの5か年計画「レーモンド・リノベーションプロジェクト」による既存校舎の改修工事を実施しました。2022年度はこれに続き、大学創立75周年を迎えるにあたり、南山学園創設者であるヨゼフ・ライネルス師の名を冠した「ライネルス中央図書館構想」による図書館の改修、更に2023年4月には同窓会からの寄付を原資とした、図書館前庭の芝生広場「ア

2023年度決算について

第1表は資金収支計算書であり、本学における1年間の活動に伴う収入と支出の資金の記録です。(以下、予算額は補正予算額を指す)

収入の部では、補助金収入が予算額に対して46百万円増加となりました。これは、入学定員の確保が適切に出来た結果、国の経常費補助金の算定基準における減額幅をおさえることが出来たことが主な要因です。

支出の部は、教育研究経費支出が予算額に対して280百万円の減少と変動が大きくなっていますが、例年この支出は決算時において、一定程度改善することに加え、昨今の物価高の影響を加味し、日々の支出抑制に努めたことも成果として現れたと考えております。

なお、例年南山学園の設立母体である神言修道会から、本学に勤務する神言修道会会員の人件費節約額として本学への財政支援がなされています。2023年度は総額13百万円弱の援助があり、競争的学内研究費であるパッへ研究奨励金の原資として充当しました。

第2表の活動区分資金収支計算書は、教育、施設整備等、その他の3つの活動区分毎に資金収支を見ることができるようにした計算書です。教育活動

第1表 2023年度 資金収支計算書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

(単位:千円)

収入の部			
科 目	予算額	決算額	差異
学生生徒等納付金収入	10,413,727	10,416,925	△ 3,198
手数料収入	679,738	664,449	15,289
寄付金収入	288,176	306,161	△ 17,985
補助金収入	1,251,774	1,298,255	△ 46,481
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	270,337	248,434	21,903
受取利息・配当金収入	126,085	135,930	△ 9,845
雑収入	281,308	283,502	△ 2,194
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	2,157,784	2,212,365	△ 54,581
その他の収入	2,422,769	2,451,671	△ 28,902
資金収入調整勘定	△ 2,355,169	△ 2,373,650	18,481
当期収入合計	15,536,529	15,644,041	△ 107,512
前年度繰越支払資金	33,759,228	33,759,228	0
収入の部合計	49,295,757	49,403,269	△ 107,512

支出の部			
科 目	予算額	決算額	差異
人件費支出 (退職金支出)	6,942,988	6,829,238	113,750
教育研究経費支出	3,232,095	2,951,855	280,240
管理経費支出	798,274	682,863	115,411
借入金等利息支出	49,086	49,081	5
借入金等返済支出	482,750	482,750	0
施設関係支出	304,131	317,720	△ 13,589
設備関係支出	412,881	388,048	24,833
資産運用支出	500,006	500,007	△ 1
その他の支出	2,531,674	2,567,242	△ 35,568
予備費	0	0	0
資金支出調整勘定	△ 462,550	△ 493,885	31,335
法人本部費配賦額	520,416	527,418	△ 7,002
当期支出合計	15,311,751	14,802,339	509,412
翌年度繰越支払資金	33,984,006	34,600,930	△ 616,924
支出の部合計	49,295,757	49,403,269	△ 107,512

ルムナイガーデン」整備まで一貫して進めてまいりました。この一連の取り組みは、長期間にわたりレーモンド建築の再生保存を取り入れながらキャンパスを継続的に成長させている取り組みとして評価され、2024年日本建築学会賞(業績)を受賞するにいたりました。

2023年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことを受け、本学の運営はほぼ平常に戻り、ポストコロナの時代に入りました。2024年度の学長方針では、ポストコロナの時代では「以前の現状」に戻すのではなく、「新しい現状」を作り出す努力が私たちに要求されていると述べております。大規模改修事業が完了した現在、「新しい現状」に向けて財政面においてもしっかりとした財政基盤を構築し、持続可能な大学運営の実現に向けて取り組んでまいります。

本学では、「NANZAN BULLETIN」「南山大学概要」「南山大学公式Webページ」において財政状況を公開し、透明性の確保に努めています。今回は、2023年度決算および2024年度予算の概要について、財務諸表をもとに説明させていただきます。

第2表 2023年度 活動区分資金収支計算書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

(単位:千円)

科 目	予算額	決算額	差異	
教育活動資金収支	学生生徒等納付金収入	10,413,727	10,416,925	△ 3,198
	手数料収入	679,738	664,449	15,289
	特別寄付金収入	288,156	305,447	△ 17,291
	一般寄付金収入	20	714	△ 694
	経常費等補助金収入	1,251,774	1,298,255	△ 46,481
	付随事業収入	270,337	248,434	21,903
	雑収入	281,074	282,930	△ 1,856
	教育活動資金収入計	13,184,826	13,217,153	△ 32,327
	人件費支出	6,942,988	6,829,238	113,750
	教育研究経費支出	3,232,095	2,951,855	280,240
	管理経費支出	798,054	677,497	120,557
	教育活動資金支出計	10,973,137	10,458,590	514,547
	差引	2,211,689	2,758,564	△ 546,875
調整勘定等	90,146	155,641	△ 65,495	
教育活動資金収支差額	2,301,835	2,914,205	△ 612,370	
施設整備等活動資金収支	施設設備補助金収入	0	0	0
	施設整備等活動資金収入計	0	0	0
	施設関係支出	304,131	317,720	△ 13,589
	設備関係支出	412,881	388,048	24,833
	減価償却引当特定資産繰入支出	500,000	500,000	0
施設整備等活動資金支出計	1,217,012	1,205,769	11,243	
差引	△ 1,217,012	△ 1,205,769	△ 11,243	
調整勘定等	85,943	90,156	△ 4,213	
施設整備等活動資金収支差額	△ 1,131,069	△ 1,115,613	△ 15,456	
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	1,170,766	1,798,592	△ 627,826	
その他の活動資金収支	イ・ハツ工国際交流奨励金引当特定資産取崩収入	1,300	1,300	0
	長期貸付金回収収入	6,938	5,957	981
	短期貸付金回収収入	250	0	250
	預り金受入収入	2,129,152	2,154,796	△ 25,644
	貯蔵品売却収入	0	0	0
	その他の収入	1,050	5,477	△ 4,427
	小計	2,138,690	2,167,531	△ 28,841
	受取利息・配当金収入	126,085	135,930	△ 9,845
	過年度修正収入	234	572	△ 338
	その他の活動資金収入計	2,265,009	2,304,033	△ 39,024
	借入金等返済支出	482,750	482,750	0
	イ・ハツ工国際交流奨励金引当特定資産繰入支出	6	7	△ 1
	長期貸付金支払支出	31,800	28,700	3,100
	短期貸付金支払支出	1,750	0	1,750
	預り金支払支出	2,123,919	2,161,821	△ 37,902
	その他の支出	1,050	5,779	△ 4,729
	小計	2,641,275	2,679,057	△ 37,782
借入金等利息支出	49,086	49,081	5	
過年度修正支出	220	5,366	△ 5,146	
その他の活動資金支出計	2,690,581	2,733,504	△ 42,923	
差引	△ 425,572	△ 429,471	3,899	
調整勘定等	0	0	0	
その他の活動資金収支差額	△ 425,572	△ 429,471	3,899	
予備費	0	0	0	
法人本部費配賦額	520,416	527,418	△ 7,002	
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額-予備費-法人本部費)	224,778	841,703	△ 616,925	
前年度繰越支払資金	33,759,228	33,759,228	0	
翌年度繰越支払資金	33,984,006	34,600,930	△ 616,924	
支出の部合計	49,295,757	49,403,269	△ 107,512	

資金収支は、学生生徒等納付金・補助金・寄付金などの収入と人件費・教育研究経費支出など、本来の学校教育活動に係る収入・支出です。第2表を見ていただくと、教育活動資金収支は2,914百万円の収入超過となっています。施設整備等活動資金収支では、減価償却引当特定資産繰入支出(500百万円)は将来の校舎等整備に向け特定資産へ計画的に繰入れを行っているもので、実際に支払が生じているわけではありません。その他の活動資金収支は429百万円の支出超過となっており、単位間貸借である法人本部費配賦額527百万円の支出を含め、南山大学全体では842百万円の資金増加となっています。

第1表の資金収支計算書が、本学の資金にかかる収入および支出の顛末を表しているのに対し、第3表の事業活動収支計算書では、本学の経営状態が健全かどうかを見るための収支状況を表しています。第3表は第2表同様に3つの活動区分に分かれており、それぞれの区分毎の収支状況を見ることができま。この3つの活動区分のうち、特別収支を除く、教育活動収支と教育活動外収支の合計である経常収支により、学校の経営状況を見ることができま。経常収支差額は1,534百万円の収入超過となりましたが、過去のキャンパス整備事業(建物等取得)で生じた借入金の2023年度返済分が基本金組入額に計上されております。特別収支では、ライネルス中央図書館構想に合わせ

第3表 2023年度 事業活動収支計算書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

(単位:千円)

科 目	予算額	決算額	差異	
教育活動収支	学生生徒等納付金	10,413,727	10,416,925	△ 3,198
	手数料	679,738	664,449	15,289
	寄付金	291,676	314,337	△ 22,661
	経常費等補助金	1,251,774	1,298,255	△ 46,481
	付随事業収入	270,337	248,434	21,903
	雑収入	281,123	282,966	△ 1,843
	教育活動収入計	13,188,375	13,225,366	△ 36,991
	人件費 (退職給与引当金繰入額)	6,853,710 (220,837)	6,747,397 (233,720)	106,313 (△ 12,883)
	教育研究経費 (減価償却額)	4,455,791 (1,220,196)	4,180,529 (1,220,190)	275,262 (6)
	管理経費 (減価償却額)	970,558 (172,504)	850,272 (172,445)	120,286 (59)
	徴収不能額等	0	0	0
	教育活動支出計	12,280,059	11,778,198	501,861
	教育活動収支差額	908,316	1,447,168	△ 538,852
教育活動外収支	事業活動収入	126,085	135,930	△ 9,845
	受取利息・配当金	0	0	0
	その他の教育活動外収入	126,085	135,930	△ 9,845
	借入金等利息	49,086	49,081	5
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	49,086	49,081	5
	教育活動外収支差額	76,999	86,849	△ 9,850
経常収支差額	985,315	1,534,016	△ 548,701	
特別収支	事業活動収入	0	0	0
	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入 (現物寄付) (施設設備補助金) (過年度修正額)	15,235 (15,001) (0) (234)	15,434 (14,862) (0) (572)	△ 199 (139) (0) (△ 338)
	特別収入計	15,235	15,434	△ 199
	資産処分差額	99,245	99,589	△ 344
	その他の特別支出	220	5,366	△ 5,146
特別支出計	99,465	104,955	△ 5,490	
特別収支差額	△ 84,230	△ 89,521	5,291	
予備費	0	0	0	
法人本部費配賦額	501,661	508,664	△ 7,003	
基本金組入前当年度収支差額	399,424	935,832	△ 536,408	
基本金組入額合計	△ 748,161	△ 732,509	△ 15,652	
当年度収支差額	△ 348,737	203,322	△ 552,059	
前年度繰越収支差額	5,177,804	5,177,804	0	
基本金取崩額	0	0	0	
翌年度繰越収支差額	4,829,067	5,381,126	△ 552,059	

(参考)

事業活動収入計	13,329,695	13,376,730	△ 47,035
事業活動支出計 ^(e)	12,930,271	12,440,898	489,373

経常収入	13,314,460	13,361,296	△ 46,836
経常支出	12,329,145	11,827,279	501,866

(※)法人本部費配賦額を含む。

て、蔵書の見直しをはかったため、資産処分差額に約90,000千円の図書を除籍分が計上されておりま。結果として、当年度収支差額は203百万円の収入超過となりました。

第4表の貸借対照表は、年度末時点における資産、負債、純資産(基本金+繰越収支差額)の状態を表しています。資産の部では、固定資産のうち有形固定資産について、近年のキャンパス整備事業により取得した固定資産の減価償却額が大きく、全体としては減少となっています。しかし、資金収支計算書の項目で説明したとおり、減価償却引当特定資産へ計上した500百万円と現預金の増加分842百万円は増加したことから、資産全体としては521百万円の増加となりました。負債の部は、長期借入金返済により長期借入金は前年度末より減少しております。

第4表 貸借対照表

(2024年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部			
科 目	2023年度末	2022年度末	増減
固定資産	38,438,176	38,669,563	△231,387
有形固定資産	36,024,565	36,775,417	△750,852
土地	9,197,414	9,197,414	0
建物	18,995,776	19,721,178	△725,402
構築物	1,158,538	1,268,465	△109,927
教育研究用機器備品	787,507	633,046	154,461
管理用機器備品	47,268	57,694	△10,426
図書	5,835,063	5,894,621	△59,558
建設仮勘定	2,999	2,999	0
特定資産	2,290,062	1,791,355	498,707
退職給与引当特定資産	140,000	140,000	0
減価償却引当特定資産	1,420,000	920,000	500,000
南山大学短期留学者奨学金引当特定資産	200,000	200,000	0
南山大学施設設備拡充引当特定資産	400,000	400,000	0
イ・ハツ工国際交流奨励金引当特定資産	15,882	17,175	△1,293
学生緊急支援引当特定資産	114,180	114,180	0
その他の固定資産	123,549	102,792	20,757
電話加入権	5,297	5,297	0
施設利用権	4,339	4,339	0
長期貸付金	40,265	17,522	22,743
差入保証金	70,200	70,200	0
ソフトウェア	3,449	5,434	△1,985
流動資産	34,903,599	34,150,821	752,778
現金預金	34,600,930	33,759,228	841,702
未収入金	201,716	284,779	△83,063
貯蔵品	11,740	12,379	△639
立替金	301	0	301
前払金	88,911	94,436	△5,525
資産の部合計	73,341,775	72,820,385	521,390

負債の部			
科 目	2023年度末	2022年度末	増減
固定負債	7,747,094	8,244,253	△497,159
長期借入金	4,315,930	4,798,680	△482,750
長期未払金	1,591,510	1,5	

2024年度予算について

本学における収入構造を財務比率から見ると、第5表が示す通り、2023年度決算では学生生徒等納付金比率78%、補助金比率9.7%となっており、学生生徒等納付金と補助金が収入の大部分を占めています。この収入構造は2024年度予算においても同様です。一方で、支出の部では、人件費、教育研究経費、管理経費が主な項目ですが、教育研究経費比率が全国平均に比べて低いことが本学の課題となっています。今後は、適正な予算配分を意識し、教育研究経費の一層の拡充に取り組んでまいります。

2024年度は学長方針の「新しい現状」に向かう本学の使命として、「3Dsの実践」を掲げています。「3Dsの実現」のために、財政的な観点をもって、教育・研究活動の充実に向けた事業を実施します。

2024年度の主な事業計画は以下のとおりです。

- 無線LANサービスの設備更新事業
Q棟、リアン棟、ライネルス中央図書館、大学院生研究室等を中心に教育・研究活動の快適な環境構築に向けて無線LANサービスの設備更新を行います。
- L棟トイレ改修工事
L棟のトイレ改修を行います。バリアフリー化に向けたユニバーサルトイレの導入など、教育設備の更新事業を実施します。

レの導入など、教育設備の更新事業を実施します。

3.E棟外壁改修工事

1983年の竣工以来、補修が実施されていないE棟の外壁改修工事を行います。欠損箇所等を調査し、該当箇所の補修や防水工事も施すことで、建物の保護機能を高めます。

4.過年度卒業生および卒業生の就職先の企業アンケート

教学マネジメントの全学的整備の一環として、学習成果・教育成果の把握・可視化に向けて、大学の学位プログラムを学んだ卒業生が社会からどのような評価がされているのか就職先の企業にアンケートを実施します。

なお、掲載しております財務諸表につきまして、2024年度予算が3月に決定されている関係で、前年度繰越収支差額および前年度繰越支払資金が2023年度決算からの繰越額と一致していないことを申し添えさせていただきます。

本学では、私立大学としての公共性と説明責任を認識し、引き続き財務改善に努める所存です。どうかご理解、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

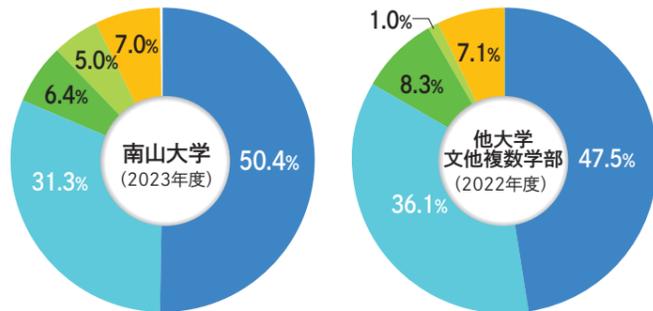
(大学本部長 児玉 和典)

第5表 財務比率
事業活動収支計算書関連

比率	計算式(注)	南山大学			他大学	評価
		2021年度	2022年度	2023年度	2022年度	
人件費比率	人件費/経常収入	53.8%	55.7%	50.5%	48.0%	↓
人件費依存率	人件費/学生生徒等納付金	69.8%	70.4%	64.8%	59.1%	↓
教育研究経費比率	教育研究経費/経常収入	31.9%	34.8%	31.3%	36.5%	↑
管理経費比率	管理経費/経常収入	5.9%	7.3%	6.4%	8.4%	↓
借入金等利息比率	借入金等利息/経常収入	0.5%	0.4%	0.4%	0.1%	↓
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金/経常収入	77.1%	79.2%	78.0%	81.3%	↑
補助金比率	補助金/事業活動収入	11.2%	8.2%	9.7%	10.8%	↑
基本金組入率	基本金組入額/事業活動収入	9.2%	6.6%	5.5%	6.5%	↑
減価償却額比率	減価償却額/経常支出	12.6%	11.4%	11.8%	11.4%	～

事業活動収入に対する比率

比率	南山大学	他大学文他複数学部
	2023年度	2022年度
人件費	50.4%	47.5%
教育研究経費	31.3%	36.1%
管理経費	6.4%	8.3%
その他の事業活動支出額	5.0%	1.0%
基本金組入額+当年度収支差額	7.0%	7.1%



貸借対照表関連

比率	計算式	南山大学		他大学	評価
		2022年度	2023年度	2022年度	
純資産構成比率	純資産/(総負債+純資産)	84.0%	84.7%	88.4%	↑
繰越収支差額構成比率	繰越収支差額/(総負債+純資産)	7.1%	7.3%	△16.5%	↑
流動比率 ^(※1)	流動資産/流動負債	864.7%	863.5%	265.9%	↑
減価償却比率 ^(※2)	減価償却累計額/減価償却資産取得価額	48.5%	50.6%	126.5%	～
総負債比率	総負債/総資産	16.0%	15.3%	11.6%	↓
負債比率	総負債/純資産	19.1%	18.1%	13.1%	↓

(注)他大学の数値は、日本私立学校振興・共済事業団令和5年度版「今日の私学財政」より、事業活動収支計算書関連については文他複数学部の大学部門の平均を、貸借対照表関連は文他複数学部を有する大学法人全体の平均をそれぞれ掲載した。

評価は、それぞれの大学の特殊性があり一概にはいえないが、一般的には「↑」は数値が高い方がよく、「↓」は数値が低い方がよく、「～」はどちらともいえないとされている。

純資産=基本金+繰越収支差額

総負債=固定負債+流動負債

※1 南山大学の流動比率は流動資産から第3号基本金額を差し引いた額を分子とした。

※2 分子・分母とも図書を除く

第6表 2024年度 資金収支予算書

(2024年4月1日から2025年3月31日まで) (単位:千円)

収入の部	
科目	予算額
学生生徒等納付金収入	10,690,764
手数料収入	677,723
寄付金収入	196,034
補助金収入	1,251,774
資産売却収入	0
付随事業・収益事業収入	255,326
受取利息・配当金収入	118,575
雑収入	298,313
借入金等収入	0
前受金収入	2,142,085
その他の収入	2,331,559
資金収入調整勘定	△ 2,418,234
当期収入合計	15,543,919
前年度繰越支払資金	33,984,006
収入の部合計	49,527,925
支出の部	
科目	予算額
人件費支出 (退職金支出)	7,182,640 (368,618)
教育研究経費支出	3,296,736
管理経費支出	796,493
借入金等返済支出	43,716
借入金等返済支出	482,750
施設関係支出	86,168
設備関係支出	273,679
資産運用支出	500,006
その他の支出	2,560,032
予備費	27,014
資金支出調整勘定	△ 291,762
法人本部費配賦額	588,353
当期支出合計	15,545,825
翌年度繰越支払資金	33,982,100
支出の部合計	49,527,925

第7表 2024年度 活動区分資金収支予算書

(2024年4月1日から2025年3月31日まで) (単位:千円)

科目		予算額
教育活動資金収支	学生生徒等納付金収入	10,690,764
	手数料収入	677,723
	特別寄付金収入	195,734
	一般寄付金収入	300
	経常費等補助金収入	1,251,774
	付随事業収入	255,326
	雑収入	298,313
	教育活動資金収入計	13,369,934
	人件費支出	7,182,640
	教育研究経費支出	3,296,736
管理経費支出	796,493	
教育活動資金支出計	11,275,869	
差引	2,094,065	
調整勘定等	△ 106,202	
教育活動資金収支差額	1,987,863	
施設整備等活動資金収支	施設設備補助金収入	0
	第2号基本金引当特定資産取崩収入	0
	その他の引当特定資産取崩収入	0
	施設整備等活動資金収入計	0
	施設関係支出	86,168
	設備関係支出	273,679
	第2号基本金引当特定資産繰入支出	0
	その他の引当特定資産繰入支出	500,000
	施設整備等活動資金支出計	859,847
	差引	△ 859,847
調整勘定等	△ 71,190	
施設整備等活動資金収支差額	△ 931,037	
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	1,056,826	
その他の活動資金収支	借入金等収入	0
	長期貸付金回収収入	11,387
	短期貸付金回収収入	250
	預り金受入収入	2,126,646
	貯蔵品売却収入	0
	その他の収入	4,266
	小計	2,142,549
	受取利息・配当金収入	118,575
	過年度修正収入	0
	その他の活動資金収入計	2,261,124
借入金等返済支出	482,750	
長期貸付金支払支出	54,000	
短期貸付金支払支出	1,750	
預り金支払支出	2,121,217	
その他の支出	1,056	
小計	2,660,773	
借入金等利息支出	43,716	
その他の活動資金支出計	2,704,489	
差引	△ 443,365	
調整勘定等	0	
その他の活動資金収支差額	△ 443,365	
予備費	27,014	
法人本部費配賦額	588,353	
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額-予備費-法人本部費)	△ 1,906	
前年度繰越支払資金	33,984,006	
翌年度繰越支払資金	33,982,100	

第8表 2024年度 事業活動収支予算書

(2024年4月1日から2025年3月31日まで) (単位:千円)

科目		予算額
教育活動収支	学生生徒等納付金	10,690,764
	手数料	677,723
	寄付金	199,534
	経常費等補助金	1,251,774
	付随事業収入	255,326
	雑収入	298,362
	教育活動収入計	13,373,483
	人件費 (退職給与引当金繰入額)	7,169,573 (355,551)
	教育研究経費 (減価償却額)	4,549,503 (1,249,267)
	管理経費 (減価償却額)	969,845 (173,352)
徴収不能額等	0	
教育活動支出計	12,688,921	
教育活動収支差額	684,562	
教育活動外収支	事業活動収入	118,575
	その他の教育活動外収入	0
	教育活動外収入計	118,575
	事業活動支出	43,716
	その他の教育活動外支出	0
	教育活動外支出計	43,716
	教育活動外収支差額	74,859
	経常収支差額	759,421
	資産売却差額	0
	その他の特別収入 (現物寄付) (施設設備補助金) (過年度修正額)	15,001 (15,001) (0) (0)
特別収入計	15,001	
事業活動収入	10,002	
その他の特別支出	0	
特別支出計	10,002	
特別収支差額	4,999	
予備費	27,014	
法人本部費配賦額	574,830	
基本金組入前当年度収支差額	162,576	
基本金組入額合計	△ 938,289	
当年度収支差額	△ 775,713	
前年度繰越収支差額	4,829,067	
基本金取崩額	0	
翌年度繰越収支差額	4,053,354	
(参考)		
事業活動収入計	13,507,059	
事業活動支出計 ^(※)	13,344,483	
経常収入	13,492,058	
経常支出	12,732,637	

(※) 法人本部費配賦額を含む。

海外からの
ご来訪



2024.6.10

フィリピンのカトリック大学であるHoly Name UniversityからRuel F. Lero学長はじめ12名の教職員が来学され、大学間相互協力協定締結式を執り行いました。和やかな雰囲気の中、調印や意見交換が行われました。



▲左: Ruel F. Lero学長
右: キサラ学長

2024.6.24

台湾の静宜大学(Providence University)からLucia Shih-ling Lin学長はじめ3名が来学され、キサラ学長を表敬訪問されました。学生交流をはじめ、様々な交流の拡大についての議論が交わされました。



▲左: キサラ学長
右: Lucia Shih-ling Lin学長

2024.6.26

インドのSt. Xavier's College JaipurからS. Xavier SJ学長が来学され、キサラ学長を表敬訪問されました。その後本学との協定締結に向けた議論が行われました。



左から: ANTONY SUSAIRAJ准教授(人類文化学科) ▲キサラ学長、S. Xavier SJ学長、山岸副学長(グローバル化推進担当)

Information

友の会評議員会・総会

7月17日、ホテル名古屋ガーデンパレスで、南山大学友の会評議員会・総会を開催しました。友の会は南山大学をご支援いただいている一般および法人会員によって組織されており、本年7月1日現在の会員数は一般会員145名、法人会員119法人となっています。

総会では、(1)2023年度事業報告および決算報告、(2)2024年度事業計画(案)および予算(案)について審議され、それぞれ承認されました。議事終了後、今年度の友の会給付奨学金を受給する外国人留学生および日本人の派遣留学奨学生も参加させていた

だき、大原康之会長より奨学生採用通知書が授与されました。

また、その後行われた懇親会の席において、奨学生と友の会会員の皆様との間で積極的な交流が図られ、友の会会員の皆様より多くの温かい励ましのお言葉を頂戴いたしました。



南山大学友の会会員募集中

南山大学の教育・研究活動にご支援いただける一般および法人会員を募集しております。

[年会費]一般会員 1口 10,000円
法人会員 1口 30,000円
※何口でもお申込みいただけます。



友の会Webページ
<https://www.nanzan-u.ac.jp/tomonokai/>

後援会定例評議員会

6月29日、フラッテンホールで、南山大学後援会定例評議員会を開催しました。南山大学後援会は在学生の保護者によって組織されており、当日は理事・評議員に就任いただいている役員の皆様から126名の方にご出席いただきました。

議事においては、(1)2023年度事業報告および決算報告について、(2)役員を選任について、(3)2024年度事業計画(案)および予算(案)について審議・承認され、2024年度は9月28日(土)に第52回「保護者

の集い」を大学と共催することが決定されました。

また、本評議員会をもって理事長を退任される柴田哲士様に、キサラ学長から感謝状と記念盾が贈呈されました。新理事長には大橋享様が就任されました。



後援会Webページ
<https://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/kouenkai/>



後援会収支計算書および予算書

(単位:円)

科目	2023年度決算	2024年度予算
収入の部		
前期繰越金	3,188,297	6,379,758
入会金	2,326,000	2,382,000
会費	180,275,000	187,060,000
合計	185,789,297	195,821,758
支出の部		
教育・研究活動等支援援助金	165,000,000	170,000,000
留学生支援活動援助費	(51,600,000)	(63,000,000)
教育研究図書援助費	(68,900,000)	(60,000,000)
履修関係費	(4,500,000)	(8,000,000)
広報活動援助費	(5,000,000)	(5,000,000)
課外活動援助費	(31,000,000)	(28,000,000)
就職指導活動費	(4,000,000)	(6,000,000)
後援会活動費	10,409,539	11,000,000
保護者の集い	(1,840,224)	(2,000,000)
就職活動援助費	(1,200,000)	(1,200,000)
広報費	(6,612,369)	(6,900,000)
事務費	(756,946)	(900,000)
課外活動援助基金積立	4,000,000	4,000,000
予備費	0	400,000
次期繰越金	6,379,758	10,421,758
合計	185,789,297	195,821,758

後援会貸借対照表

2024年3月31日現在(単位:円)

借方		貸方	
預金	95,288,425	課外活動援助基金	47,724,604
		事故対策基金	41,184,063
		次期繰越金	6,379,758
合計	95,288,425	合計	95,288,425

《基金内訳》

(単位:円)

課外活動援助基金		事故対策基金	
前期繰越金	43,724,604	前期繰越金	41,184,063
当年度積立金	4,000,000	当年度積立金	0
当年度取崩金	0		
合計	47,724,604	合計	41,184,063

寄附者ご芳名

「南山大学教育研究支援」へのご協力に感謝いたします。

伊藤威知郎様

株式会社はやしや

代表取締役副社長 赤羽一仁様

物質文化研究会

代表 黒澤 浩様

株式会社極東精機

代表取締役 北野 毅様

三機工業株式会社中部支社

常務執行役員支社長 波多野宏行様

匿名ご希望者 2名・2団体様

「南山大学創立75周年記念募金」へのご協力に感謝いたします。

伊藤威知郎様 田中秀俊様

中谷実様 後藤 悟様

匿名ご希望者 4名様

新任教員紹介

2024年9月1日付

●外国語教育センター

教授 小玉 安恵

(専攻分野: 社会言語学)

●教職センター

講師 市川 哲

(専攻分野: 教育心理学、教育相談)

退職

2024年7月31日付

●外国語学部

講師 WILSON, John

本学では、学生の活動などをWebページ「NANZAN Today」、Instagram、Facebookでも紹介しています。ぜひご覧ください。

NANZAN Today



Instagram



Facebook



南山大学

発行 広報・募金課 / 〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18 Phone: 052-832-3113(直通)
E-mail: pr-gaku@nanzan-u.ac.jp <https://www.nanzan-u.ac.jp/>